

平成 29 年第 2 回山田町議会定例会

一般質問通告の要旨

一般質問は、6月13日(火)に順位1～5番を、14日(水)に6番を行う予定です。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	7番 尾形 英明	1 人事異動による引き継ぎについて	今回の人事異動により新体制になって2カ月が経過しました。そこで伺います。今まで議会の中で質問した答弁の中で自分の課の宿題になっている問題等が前課長から引き継ぎが行われているか、継続課長も含め、その問題を副町長や町長は把握しているか、お伺いします。
		2 消防水利の基準を満たすための計画について	昨年の議会でも質問しましたが、消防水利について伺います。消防水利を例示すれば、消火栓、防火水槽、プール、河川や海などいろいろあります。 消防水利は、常時貯水が40立方メートル以上または取水可能水量が毎分1立方メートル以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有しなければなりません。 市街地または準市街地以外の地域では、防火対象物から1つの消防水利に至る距離が、140メートル以下となるように設けなければならないとうたわれております。 (次ページへ)

順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	7番 尾形 英明	2 消防水利の基準を満たすための計画について (つづき)	そこで、前回の答弁で国が示す基準には、全地域で 355 基必要だが現在 197 基で、まだ 158 基足りない状況で計画的に整備したいとの答弁でしたが、今年計画には高台の設置だけで、足りない部分の設置計画が予算化されていません。消防水利の河川の整備も考えた計画を望むが、当局の考えは。
2	12番 山崎 泰昌	1 三陸鉄道移管について	(1) 移管協力金の使途は 5 項目あるが、沿線首長会議での最終決定額を示せ。 (2) 新駅設置の可能性はあると聞いているが全線開通時に設置されなければ、町の負担が増えるのではないか。 (3) 開通後 15 年程度で赤字が予想されている。町民の利便性向上を優先すれば将来的に負担が増えても「住民の足」と認識し、鉄道運営に協力してくれると考えるが、町の見解は。
		2 子育て支援について	(1) 子育て世代包括支援センターを立ち上げたようだが、きめ細やかで切れ目のない支援とは何か。具体例を示せ。 (2) 高齢者支援に対しては、国、県はもとより町も大きな力を入れている。子育て世代にも支援メニューはあるが、町内外に対してのインパクトが小さいと感じている。他市町村からも山田に移住したいと思わせる施策はあるか。 (3) 以前は、大変稀なこととして 100 歳長寿祝い金が 100 万円支給されていた。このようなインパクトの強い施策も子育て支援に必要ではないか。

順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	12番 山崎 泰昌	3 産業振興について	<p>(1) 以前、労働人口の減少対策について質問した時、外国人労働者の受け入れを町で行う仕組みをとるべきと提言した。他市町村を調べるとあったが、どのような結果か示せ。</p> <p>(2) 町内の中小企業は人手不足が深刻だ。しかし、必要な人員は1社当たり多くても2～5名程度のところが大勢を占めていると見受けられる。現状の支援制度では個人や中小企業ではハードルが高い。町であつせん団体や事業所を作って人材確保を手助けすることはできないか。</p> <p>(3) 太陽光発電を備えている学校施設等があるが、どの程度の利用益があるのか検証しているか。結果によっては、事業者向け補助メニューの創設などが考えられると思うが、町の見解は。</p>
		4 交通安全の確保について	<p>町総合計画の中には、交通安全施設の整備をうたっているが、現状では目に見えていない。危険性が高まっている場所が見受けられるが、当局として把握して対応しているか。</p>
3	11番 菊地 光明	1 緊急雇用について	<p>(1) 緊急雇用事業が昨年度で終了したようだが、その間、何カ所の事業所で何人雇用したのか。そのうち何人が正規雇用となったのか。</p> <p>(2) 緊急雇用事業で働いていた人の中で起業した人は何人か。また起業した人がいたら今後の支援体制はどうか示せ。</p>
		2 消防水利について	<p>(1) 各地区の高台工事も順調に進み移転が始まっているが、そこで伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	11 番 菊地 光明	2 消防水利について (つづき)	<p>浜川目地区から大浦地区の各団地についての防火水槽設置はどうなっているのか各地区ごとに示せ。</p> <p>(2) 防火水槽設置の基準はどうなっているのか。例えば民家戸数並びに地区面積等の基準を詳しく示せ。</p> <p>(3) 住宅戸数の増加が著しく、また競技スポーツ等来客数の多い山谷地区の総合運動公園周辺とその向かいにあるニュータウンの整備計画を示せ。</p>
		3 戸建て住宅について	<p>戸建ての災害公営住宅について、田の浜、船越地区の募集をしているようだが、本来戸建て住宅は被災した方々の希望調査をもとに建築していると思う。そこで伺う。</p> <p>(1) 大沢地区の戸建て住宅は5月中の入居予定のはずであったが、下条、大沢小学校脇の入居戸数について示せ。</p> <p>(2) 織笠地区の入居戸数も同様に示せ。</p> <p>(3) 田の浜地区と船越地区について、希望調査をもとに整備していると考えが整備状況や戸数について示せ。</p> <p>(4) 今後の山田地区の整備計画について詳しく示せ。</p>
		4 区画整理について	<p>(1) 町中心部の区画整理状況について、建物等撤去も順調に進んでいるようだが、今後の整備計画について詳しく示せ。</p> <p>(2) 織笠地区から北浜地区の国道 45号整備が進んでいるが、国道整備に伴い国道両側の地盤の高さについて示せ。 (次ページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	11 番 菊地 光明	4 区画整理について (つづき)	<p>また、織笠大橋北側部分と防潮堤とのすり付けはどうなっているのか示せ。</p> <p>(3) 国道の街灯設置はどうなっているのか詳しく示せ。</p>
		5 スポーツについて	<p>(1) 希望郷いわて国体も無事終了したが、今後はそのレガシーが重要と言われている。今後どのようにレガシーを取り入れていくのか計画を示せ。</p> <p>(2) 仮設住宅の集約も進んでいると思う。町民グラウンドの仮設住宅について、返還年度、返還後のグラウンドの状態について詳しく示せ。</p> <p>(3) 総合運動公園のラグビー・サッカー場の人工芝化の計画が進んでいるが、今後の管理体制はどのように考えているか。管理については野球場とは違うと考えるが、管理人の研修等が必要ではないか。また人工芝に車両等が入らないようにフェンスの設置は考えているのか。</p> <p>(4) ラグビー・サッカー場の人工芝化に伴い今後野球のアップ場の整備が必要と考えるが計画について示せ。</p>
		6 鯨と海の科学館について	<p>鯨と海の科学館の補修工事が終了し開館準備が進んでいるようだが、肝心の案内板が従来のままのようである。国道45号からの案内板の補修はどうなっているのか詳しく示せ。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	8番 関 清貴	1 住みよいまちづくりについて	<p>東日本大震災から7年目に入り、国道の整備も進められ復興の最後の地区となった山田地区の高台団地、区画整理事業、災害公営住宅の整備が進められています。ハード面での整備が進む一方、被災した住民の方々は長い間の仮設暮らしでの疲労、また再建した方々は新たな場所でのコミュニティ構築などで復興の日々を暮らす中において苦慮しているのが現状です。被災を免れた地域の方々も新たな町ができ上がってくるに従い被災前の山田の姿に戻ることを期待しています。そこで次のことを伺います。</p> <p>(1) 災害公営住宅長崎第2団地の工事が進められているが、地盤が軟弱で水が湧くような場所に建設されることから周辺の宅地に悪影響を及ぼすことが懸念されています。関係課同士で連携を図り、住宅完成後の当該地区の住環境が良好に保たれるように考えているか。</p> <p>(2) 町内の災害公営住宅の入居者に対する駐車場の数は足りているか。</p> <p>(3) 旧大浦保育園を地域の交流の場、災害時避難場所、郷土芸能伝承の場などとして有効利用する考えはないか。</p> <p>(4) 本町をより安心安全な町とするため、通学路等に防犯カメラを設置する考えはないか。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	8番 関 清貴	2 産業の振興 について	<p>町として自力再建に向け頑張る事業者に物心両面において支援が必要と考えられるが、次のことを伺います。</p> <p>(1) 「がんばる養殖事業」は28年度をもって町内ほとんどの地区で終了したが、今後、養殖漁業者への支援策は考えているか。</p> <p>(2) 本町の農家所得確保のための営農類型は米作中心と考えているか。</p> <p>(3) 仮設店舗で営業している方の中には、商売を続けるか、廃業するか迷っている方もいる。資金面等の問題から商売を続けることが決断できない事業者に対して何らかの支援策を考えているか。</p> <p>(4) 本町では観光ビジョンを策定し、山田プライドをPRしているが観光業の振興に活かされているか。</p>
		3 町内小中学校の再編等について	<p>今年も町内各小中学校は新学期が元気にスタートしています。学校統合の考え方、進め方については、「平成29年度山田町教育行政に関する所信」及び「第10次山田町教育基本計画」で述べられており、本町のみならず全国的に児童生徒数の減少は避けて通ることができないのが現実です。児童生徒数の減少で複式学級へ移行しなければならない学校も増えると思います。5年、10年先を見越した再編計画が必要な時期であろうかと考えますが、現状をどのように捉えて進めようとしているか伺います。</p> <p>また、学校再編をした場合、小学校の学区ごとで形成している地域のコミュニティや伝統文化についても影響が出ると思うが、町としてどのような構想があるか伺います。</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	6番 木村 洋子	1 「ひとり親家庭」への生活支援について	<p>「子どもの貧困」がクローズアップされている。貧困と格差が拡大し、子どもの貧困率は16.3%に達し、6人に1人が貧困ラインを下回る社会になっている。とりわけ「ひとり親家庭」の子どもの貧困率が高い。当町において「ひとり親家庭」はどれくらいあり、うち母子家庭はどれくらいあるのか。また子どもの貧困の実態を当町でも調査し、現状に即した生活支援を行っていくべきと考えるが、町の考えを聞く。</p>
		2 就学援助について	<p>見えないところで子どもの貧困が広がっている。就学援助の対象であることを認識していない人や申請をためらっている人にも援助が広がるべきと考えるが、誰でも申請しやすい状況になっているのか。</p> <p>また、入学準備金を入学前に渡している自治体も増えてきているようだが、当町でもそのようにすべきと考えるが、町の対応は。</p>
		3 県立山田病院の充実について	<p>(1) 津波で被災した山田病院が昨年、高台に開院し、入院施設も整っているため町民に安心感を与えている。仮設診療所では入院施設がなかったため、献身的に訪問診療を行い地域医療を支えていただいた。開院後は、訪問診療から外来診療に切りかわった患者もいるようだが、患者や家族からは「外来に連れて行くのが大変だ」との声が聞かれる。家族介護の現状を踏まえた無理のない対応をすべきと考えるが、実態はどのようなになっているのか。被災地では、介護の担い手不足が深刻さを増している。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ)</p>

順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	6番 木村 洋子	3 県立山田病院の充実について (つづき)	訪問診療を行うことが家族介護の負担軽減策となるため、町も病院と連携し地域医療を充実させ、安心して暮らせる環境を提供すべきであると考えるが、町の考えを聞く。 (2) 山田病院に売店がないため患者や家族が不便をしている。どうなっているのか。売店を開いてもらうよう町としても支援すべきではないか。
		4 豊間根川周辺の環境保全について	豊間根の新田橋付近に鉄板等が高く積み上げられている場所がある。川のすぐ近くであるが、周囲の環境に影響はないか。また火災等の心配はないか。
6	5番 田老 賢也	1 町の収入獲得への取り組みについて	(1) ふるさと納税について、今後、町としてさらに力を入れて増やすよう積極的に取り組むべきと思うが、当局の考えは。 (2) 町内の観光消費拡大について、将来的に三陸縦貫道が開通すれば東北への経済効果が見込まれるが、山田町としては町内 I C で降りてもらうための集客コンテンツが必要となる。町としてどのように取り組んでいくのか。
		2 災害対応での役場各課と民間との連携について	昨年 12 月議会一般質問において、災害時及び平時から、役場各課間及び民間との連携が必要だと提言した。その後の対応は。
		3 県立山田病院の訪問診療について	県立山田病院が行う訪問診療について削減の方向で動いているとのことだが、適正な供給のための管理には賛同するが、必要な方へのサービスにも影響が出ていないかという懸念がある。包括的対応を考えると行政にも影響が出てくるが、当局は訪問診療についてどのように考えているか。